

阿部和建築文化研究所

『端正な千石家住宅を守り伝える人々』二〇〇八年



株式会社阿部和工務店の工事担当者は本誌にて2007年11月29日竣工の日の様子をポエムのような文章にしています。

私は引き渡しの跡片付けをするため、ひとり外に出た。月明りに照らされた白い煙が煙突からなびいている。まだカーテンのない玄関脇の窓から白熱電球の灯のもと、赤い炎のストーブを囲み談笑する人々が見える。私はこれから始まるこの家での千石さん一家の生活を思いえがいた。「施主千石さんと楽しんだ7か月」より 46頁参照



「燃える秋」の千石家



煙突の見える背面 左奥に味噌蔵が写る